

広大総支第15-109号
平成27年8月25日

関係機関の長 殿

広島大学大学院総合科学研究科長
吉田光演
(公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、この度本研究科では、下記の要領で教員を公募いたします。
つきましては、御多忙のところ恐縮に存じますが、貴職関係方面へ周知いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 所 属 広島大学大学院総合科学研究科 社会文明研究講座
2. 職 名 ・ 人 員 准教授・1名
3. 採用予定年月日 平成28年4月1日
4. 専 門 分 野 科学史
5. 担 当 科 目
 - ・ 大学院授業科目：科学・技術・社会論，文明史基礎研究演習など
 - ・ 学士課程専門教育科目：サイエンス・スタディーズ，同演習など
 - ・ 教養教育科目：領域科目（「科学史A」，「科学史B」，「科学技術史（東千田地区・夜間隔年開講）」など），パッケージ別科目（「社会の中の科学」など）など
6. 応 募 資 格
 - (1) 博士の学位を有する方，あるいはそれに相当する能力を有する方で，上記の専門分野で十分な研究業績，教育経験のある方。
 - (2) 科学史全般を教授できる方。
 - (3) 日本語で講義可能な方。英語での講義も可能な方が望ましい。
7. 応 募 書 類
 - (1) 履歴書（写真添付，メールアドレス，所属学会及び学会活動も記載のこと）
 - (2) 研究業績
 - ・ 研究業績一覧。著書／論文 [学術論文掲載論文／学会・研究会発表論文等] /その他を区別して一覧形式で記載し，代表的業績5点に○印をつけ，5点それぞれに400字程度の日本語による概要を添付すること。
 - ・ 代表的業績5点に関して，印刷現物（ないし写し）を同封すること。
なお，確認のため，この5点以外の送付を求めることもある。
 - ・ 研究業績は公表済みのものに限る。
 - (3) 現在までの研究の概要と将来の研究計画（2,000字程度）
 - (4) 専門教育ならびに教養教育に関する経験と抱負（1,000字程度）

- 注
- ・ その他，本人が必要と思うものがあれば，添付してください。
 - ・ 書類はA4横書きで作成してください。
 - ・ (1)(2)(3)(4)は紙媒体のほか，代表的業績の印刷現物等を除き，ワード文書ならびにPDFファイルを入れたCD-ROMまたはUSBメモリー等の記録メディアを添付してください。

8. 応募期限 平成27年10月30日(金)必着

9. 応募書類送付先 〒739-8521 東広島市鏡山1-7-1
広島大学大学院総合科学研究科長 吉田 光演 (宛)
封筒に「社会文明研究講座(科学史)応募書類在中」と朱書きし，簡易書留で郵送のこと。

10. 選考方法 (1) 書類審査
(2) 選考過程で面接のために本学にお越しいただくことがあります。
その場合の旅費等につきましては自己負担でお願いしております。
なお，面接では英語による模擬授業ないしインタビューを行う予定です。

11. 給与等 採用になった方には，月給制が適用されます。
ただし，本人の同意があった場合は，年俸制が適用される場合があります。
(広島大学職員給与規則，広島大学年俸制職員給与規則適用)

12. 評価 本学の教員には，採用以降の業務実績について個人評価を行い，その結果を点数化し，処遇へ反映することを検討しています。

13. 問い合わせ先 広島大学大学院総合科学研究科 社会文明研究講座 教授 市川 浩
電話：082-424-6394 e-mail：ichikawa@hiroshima-u.ac.jp
広島大学大学院総合科学研究科 HP <http://www.hiroshima-u.ac.jp/souka/>

* お知らせ

① 個人情報について

応募書類により取得する個人情報は，採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続きに利用するものであり，この目的以外での利用又は提供することはありません。

なお，採用に至らなかった方の応募書類は，当該採用選考業務終了後，適切な方法にて返却いたします。

② 退職手当について

国，特定独立行政法人，地方公共団体または国家公務員退職手当法に定める公庫等を退職後，引き続いて本学に採用される場合は，退職手当の算定の基礎となる在職期間は通算されません。法人化前の取扱いとは異なりますのでご注意ください。

なお，他の国立大学法人または独立行政法人国立高等専門学校機構等を退職後引き続いて本学に採用される場合は，現所属機関に同様の定めがある場合に限り，従来どおり通算されます。

③ 男女共同参画について

広島大学は，男女共同参画を推進しています。本学は，「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り，業績（研究業績，教育業績，社会的貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。